

2014年度国内競技会におけるルーティンの ジャッジパネル人数編成について

追加方法導入のお知らせ

表題につきまして、ルール改正研修会（2014年1月25日国立スポーツ科学センターにて実施）にてジャッジが15名揃わない場合は①のようにお知らせいたしましたが、その後、新ルールにて行われました国際大会（「ジャーマンオープン 2014」日本代表参加大会、世界各地より14か国参加）にて、ジャッジ数が不足したため、1パネル4名で行い、4名の採点の平均を5番目のジャッジの採点として、結果を算出する方法が実施されました。

この事例を受けまして、シンクロ委員会では、下記②の方法も追加導入することとなりましたのでお知らせいたします。各競技会にご活用いただければと思います。

記

ルーティンのジャッジパネル人数編成について

- ・2014年度地域予選会またはブロック予選会におけるジャッジ数は『5名3パネル』を採用。

※ジャッジが15名揃わない場合

- ① 1人のジャッジが複数パネルに対応可。
- ② 1パネル4名の採点を平均し、5番目のジャッジの採点とする。

*小数点以下第1位までを算出する（小数点以下第2位を四捨五入する）
ただし、テクニカルルーティンの場合、第1パネル（エクスキューション）と第2パネル（インプレッション）で複数対応または平均値対応となるようにし、第3パネル（エレメンツ）は単独採点を推奨する。

但し、算出方法については、大会に支障をきたさないよう事前にレフリーが決定するものとする。

本件についての問い合わせ先

公益財団法人 日本水泳連盟 シンクロ委員会 審判部宛

Fax 03-3481-0942

以上